

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200308		
法人名	有限会社 クオーレ		
事業所名	グループホーム クオーレ基山		
所在地	佐賀県三養基郡基山町大字宮浦塚原885番6		
自己評価作成日	令和4年11月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年12月14日	外部評価確定日	令和5年1月12日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>季節を感じて頂くために、行事、レクリエーション、おやつ作りを行い、楽しんで頂いている。また、毎月ホーム内を季節の展示物をし雰囲気作りを行っています。利用者様のお誕生日会には、本人様のお誕生日の日に行い、手作りケーキで他利用者様と職員と一緒に楽しくお祝いしています。毎月1日15日はドリンクデーを決めて各々好きな飲み物を提供している。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>田園が広がり役場やスーパーが近く環境のいい場所である。管理者はこの地区に育ち、開業するなら生まれ育ったこの場所での強い思いで開業して17年。周囲の景色は朝日やホテルで季節を感じられ心安らくなる。管理者は介護の経験も長く手厚い介護をしたい。利用者の生活が安心、健康で過ごせること、最後の生活をその人らしく守る事としている。これまでに利用者、家族、職員、住民に恵まれ、これまでに地域に認められて来た事を大切に維持したい。職員は利用者が混乱しない様に大丈夫、傍にいますと言う事を意識し支援されている。地域の理解を得て近く2ユニット建設が予定されている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼の際に、理念の唱和を行い、職員一同が意識付け、実践できるように努めている。	理念は職員と共に作成し変更は無く、玄関に掲示されている。「利用者様の笑顔を大切に積極的にコミュニケーションを図り支援する」、介護目標と共に唱和されている。職員は常に意識し、守られている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為、地域との交流は出来ていない。近所の方から野菜をいただいたりしている。	自治会に加入し回覧板は区長さんが持参される事もあり町内の情報は得られている。これまではボランティアの受け入れもあったが現在は中止されている。子供110番で子供の登下校の見守りも行われている。近所から野菜を頂く事もあり交流は続いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍なので、施設内での運営推進委員会は出来ていないが、資料を渡し、認知症の事を理解して頂くように取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で施設内ではできていないが、書面にて行っている。	委員揃っての会議が出来ないので職員会議の中で入居状況、近況報告、行事や定例会議の内容を書面にし「ほのぼの通信」と共に家族にも配布し意見や要望も聞いている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	3ヶ月に1回ほどの通信を配布している。	以前実習生を受け入れた事もある。空き情報、入居状況は広域連合に報告し相談も行われ解決されている。入居者に生活保護の方もあり保健所から調査に来られコメントを頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての内部研修を行い、職員一人一人が理解してもらうようにしている。	マニュアルを作成し、知識向上の為3か月に1回委員会で研修会を実施。職員は拘束の内容と弊害について周知され拘束のない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての内部研修を行い、職員全員が理解し徹底して防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度についての内部研修を行い、必要な方は、活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は契約書の提示と料金等を詳しく説明し、同意を得るようにしている。解約については、話し合いを行い、理解と納得の上で解約している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。意見があった際は、話し合いをし運営に反映している。	玄関に意見箱を設置しているが利用はない。現在苦情はない。コロナ禍であるが、一時期面会出来ていた。職員は意識をもって利用者の安全な生活が出来る様見守っている。家族から手引き歩行の要望があり、取り入れられた。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議において意見や提案を聞くようにしている。出された意見や提案については職員会議で話し合いを行い、検討し、反映している。	職員間で意見は出し易い。1ヶ月に2回ケア会議、職員会議を全員参加で行い、休日など職員が働き易い工夫をされている。職員16名と多いがコミュニケーションは良く纏まっている。一時期職員の入れ替わりがあったが休日、緊急時の対応や業務の流れ等話し合い、働き易く改善され安定している。移動には利用者も職員も安全で体に負担が少ない様にリフトを購入されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員会議で仕事、業務上の問題点を話し合い、働きやすい方向に改善できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の職員会議でテーマを決め、そのテーマについて内部研修を行い、職員一人一人の介護技術の向上、知識向上に取り組んでいる。また、研修等に参加し、研修内容の発表をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、他の事業所との交流を図っている。意見等を取り入れ、サービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様が困っている事や要望があれば話を聞き入れるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の意見や要望などを聞き、プランに取り入れている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様、ご本人様と話し合いを行い、現在必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし、出来ない事は、介助を行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会時間が限られているが、ご家族様にご本人様の状態や様子を伝えるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で面会時間が限られているが、ご家族様、知人の面会を行っている。	これまでは面会は多かったがコロナ禍の為に中止されている。家族の協力で外出される方は多い。1ヶ月に1回利用者の生活や行事の様子を「ほのぼの通信」を作成し家族に送られている。家族は様子を知り安心し、楽しみにされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様の間に入り、交流の場を持つように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今のところはないが、今後あれば行事、レクリエーションに参加してもらうようにする。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様がしたい事があれば、話し合いを行い、ご希望に沿えるように努めている。	レクリエーションや風呂の時間にはゆっくりと話が出来る。思わぬ行動や表情に気を配り、利用者の思いを知る事が出来、記録されたケアプランに活かされている。難聴の方には集音器を使い会話を楽しまれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様に生活状況などを聞き取り、それを参考にし対応している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活状態や様子を生活経過表に記入し、いつでも確認できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議を通し、見直しを行っている。	担当制である。日々の記録を共有し体力の変化にも気を配り、その人に合ったプランを作成し、不眠や普段との違い、特変の時は家族に報告される。下肢の筋力低下に対して体操、歩行を取り入れられた。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、日々の様子や気づきなど記録を行い、共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスを日々提供しており、新たなサービスを支援することができるように考えている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍により実施できていない。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様が希望するかかりつけ医を利用できるようにしている。また、月2回の訪問診療や急変時の対応を受けられるように支援している。	現在は訪問診療に変えている。急患や夜間等24時間対応されている。他科診療は訪問診療医から紹介してもらい受診されている。歯科は訪問診療である。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の観察や援助を通し、異常時は速やかに看護師に情報を伝え適切な受診や看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報共有や状態把握に努め、早期退院ができるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアの方針を入所時に説明、同意を受けている。また、終末期や重度化した場合、ご家族様、医師、看護師、介護士で話し合いの場を設け、状態説明や今後の方針を共有し支援している。	マニュアルを作成し、入居時に説明し同意を得ている。事業所で全員参加の勉強会が行われる。看取りの経験はあり、つい最近にも経験されている。容態変化の際にはその都度主治医、訪問看護師と密に相談し家族にも伝えられている。お見送りをし管理者と職員はお参りに参列され家族からは感謝されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルや事故発生対応マニュアルに沿って定期的に訓練を行うとともに看護師により応急手当ができるように指導を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	各マニュアルを作成しており、年に2回の消防訓練を実施している。また、消防署より訓練指示を受けている。緊急時は地域の方々に協力して頂けるように体制を整えている。	消防署立会いで夜間想定訓練を年2回実施。地域の方には電話で参加を呼び掛け参加されている。地域の方には見守りを願っている。家族にも避難場所を伝えている。備蓄や防災用ヘルメットも用意されている。行政にも連絡は取っている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修やプライバシー保護などの内部研修を実施している。また、職員同士でも言葉遣いや対応について職員同士で注意できるように心がけている。	接遇の研修も行われている。言葉による虐待もあり強い言葉遣いや掛け方、大声に気配りされている。方言は必要に応じて使い、分かり易く反応も早い。個人情報の保護、管理についても職員は理解し守られている。職員の気になる行動や言葉遣いには会議の際に話し合い改善している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望が出やすいような声掛けをし、自己決定できる環境や雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常よりコミュニケーションを図り、行動を見守りながらそれぞれにできることを考え、希望や状態に合わせたケアが行えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備を一緒に行いご自分の着たい洋服を選んで頂いている。また、行事やお誕生日ではお化粧も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に1度利用者様と一緒におやつ作りを行っている。季節の物をメニューに取り入れたり、ミキサー食や刻み食でも彩りに注意し盛り付け方に配慮している。年に2回嗜好調査の実施している。	調理専門の方がいる。利用者の希望を取り入れ献立も作成されている。食材の買い物も事業所でされている。季節食、希望食にも対応されている。利用者の手伝いは年々少なくなるが干し柿作り、野菜(つくし等)の処理等は出来ている。おやつ作りや月2回ドリンクデーが設けられ利用者の好みの飲み物が提供され楽しみにしている。職員も同じ食事である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量は、毎日生活記録表にチェックし、一人一人の状態を把握している。栄養バランスも体調などに合わせ管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は歯磨きを行い、できない方は介助をし清潔に努めている。義歯の方は毎日洗浄剤で消毒を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い、一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導や声掛けをしてなるべく便器に座って排泄できるように工夫している。	利用者の排泄パターンに沿ったタイミングを見て誘導されている。利用者からのサインが出る事もあり自立出来た方もある。ポータブルトイレ、センサーマットの利用もある。頻回にトイレに行かれる方がいるが言葉掛けし、気分転換し落ち着かれる。排便については医者と相談しながら便のコントロールが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表に記入しパターンの把握とともに水分補給、料理、食材の工夫に努め便秘予防に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日、時間帯は基本決めているが状況に合わせ、いつでも入浴できるよう対応している。個浴対応でゆっくり入浴できるようにしている。浴槽に入れない方はシャワー浴と同時に足浴を実施している。	週2回、プライバシーに気を配りながら入浴される。ゆっくり話ができる時間である。入浴剤、季節湯にも対応されている。ヒートショックの予防もされ、物品棚はきちんと整理されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活に合わせてご本人さまの希望に沿い、リビングでテレビを見たり居室で休息するなど対応している。寝具は季節に応じた物を使用しシーツ、包布はいつも清潔にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方に関するファイルはあり、いつでも職員が確認できるようにしている。また、状態を記録に残し看護師、医師へ情報提供し治療に生かしている。服薬は必ず2名のスタッフで確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の状態に合わせて、洗濯物たたみ、ちり紙折りなどのお手伝いをして頂いている。年に2回の嗜好調査で利用者様の好みを把握し行事やおやつ作りに取り入れている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍によりバスハイクは実施できていないが、天気のいい日はウッドデッキを活用し屋外レクリエーションやお茶会を行っている。	年間の行事計画はあるがコロナ禍の為外出は控えている。室内で茶話会やおやつ作り、天気のいい日はウッドデッキや駐車場で日光浴が出来、季節を感じられ気分転換となっている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在使うことを希望される方はいないが、ご本人希望で小銭を持つことで不安の軽減、安心感が得られるのであればご本人で管理できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の要望があれば対応できるようにしている。年賀状やお手紙がホームに届くことがある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング、庭に季節が感じられるように花を生けている。また、月に1回のペースで季節の行事の壁画を飾るようにしている。ウッドデッキからは花が見え季節感を楽しめるようになっている。	リビングは広く明るい。窓ガラスが大きく景色が見え季節を感じる事が出来る。リビングでは新聞を読んだり、テレビ、ゲームを楽しみ、好きなドリルをされ自分に合った時間を過ごされている。食前の体操では楽器を使い元気で賑やかに行われている。掃除は職員と利用者は軽い箒を使い出来る範囲でされている。犬を飼っており利用者を和ませている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファーを利用し会話を楽しんでいる。また、懐かしい映画を鑑賞され職員や利用者様と語り合っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた家具を持ち込んで頂き居心地よく生活して頂けるように工夫している。また、ご家族様より、フォトフレームを預かり、それぞれのその人らしい部屋になっている。	馴染みの持ち込みは自由である。居室入口には利用者好みに名札や花をあしらっている。部屋作りは家族と共に居心地良く過ごせるように配置され、整理整頓されている。茶碗、湯呑、ぬいぐるみ、テレビ、タンスが見える。ベッドの下には洗面器に水を張り加湿されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室やトイレなど表示を行い、状態に合わせて声掛けや誘導を行い混乱を防ぐように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない